

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業））
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の研究

研究分担者 南都伸介 大阪大学大学院医学系研究科 先進心血管治療学寄付講座 教授
研究協力者 吉田雅言 大阪大学大学院医学系研究科 先進心血管治療学寄付講座 特任研究員

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症について，冠動脈造影の所見，あるいは冠動脈 CT の所見による診断基準を設けるために現在症例を蓄積中である．

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症の疾患概念を冠動脈造影 心臓 CT などの点から確立させること．

B. 研究方法

重症冠動脈疾患における冠動脈造影や心臓 CT の所見を蓄積し，中性脂肪蓄積心筋血管症の可能性がないか検討している．

冠動脈造影や心臓 CT から中性脂肪蓄積心筋血管症と診断できるような基準や指標を見出すことを行っている．

また，様々なイメージングデバイス（血管内超音波装置や光干渉断層法など）の使用も検討中である．

（倫理面への配慮）

現時点では患者さんに中性脂肪蓄積心筋血管症が強く疑われない限り，通常の冠動脈造影・心臓 CT の説明を行い，同意を得ている．

C. 研究結果

現段階では中性脂肪蓄積心筋血管症を積極的に疑う症例がなく，重症冠動脈疾患を注意深く観察している状態である．特に現在は糖尿病合併の重症冠動脈疾患が中性脂肪蓄積心筋血管症に近い病態を呈している可能性があり，症例を蓄積している．

D. 考察

中性脂肪蓄積心筋血管症を見出すために冠動脈造影・心臓 CT は重要な役割を担うと思わ

れるが，症例数が現段階で少ないこともあり，診断基準を見出すにはいたっていない．

E. 結論

現在症例の蓄積を行っている．

F. 健康危険情報

特になし．

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

